

事業所名 就学支援型児童デイ クライムアップつぼみ教室

支援プログラム（参考様式）

作成日

R7 年

10 月

1 日

法人（事業所）理念		笑顔をはぐくみ笑顔をつなぐ										
支援方針		運動療育をメインとして、お子さまの「今」だけでなく「未来」 までを見据えた支援を行い、成長の可能性を最大限に引き出すことを目標としております。今後もより質の高い支援の提供に努め、保護者の皆様および関係機関と連携しながら、お子さまの健やかな成長を支えてまいります。										
営業時間		PM12 AM9	時	00 00	分から	PM18 PM15	時	00 00	分まで	送迎実施の有無	あり	なし
		支 援 内 容										
本人支援	健康・生活	心身ともに健やかで安全な生活が送れるよう、来所時の健康チェックを徹底し、体調や表情の変化など小さなサインにも気づける丁寧な観察を行います。 衣服の着脱・食事・排泄などの基本的な生活リズムが整うよう、一人ひとりの発達段階に応じて支援します。 また、感染症予防や衛生指導にも配慮し、安心して通所できる環境づくりを心がけています。										
	運動・感覚	ロープ・跳び箱・平均台・バランス器具などを活用し、身体づくりと感覚統合を楽しく促します。 運動を通して「挑戦する力」や「できた!」という成功体験を積み重ね、自信と自己肯定感の育成を目指します。 苦手な動きもスモールステップで挑戦し、達成感を大切にしています。										
	認知・行動	日々の活動に絵本の読み聞かせや、ブロック遊びなども取り入れ「見る」・「聞く」・「触れる」といった感覚を通して、情報を整理・理解する力を育てます。 また、活動を通して見通しを立てる力・我慢する力・危険回避の力を身につけ、安心して生活できる行動習慣をサポートします。 「やってみよう」「次も頑張ってみよう」と思えるような支援を行い、挑戦する意欲を引き出します。										
	言語 コミュニケーション	自分の思いや考えを伝える楽しさを感じられるように支援します。 活動の中で、相手の気持ちや場面に合った言葉の使い方を学び遊びやレクリエーションを取り入れています。 発語が難しい児童には、絵カード・マカトン法・ジェスチャーなどを用い、自分の気持ちを伝える手段を増やす支援を行います。										
	人間関係 社会性	まずは身近な大人との信頼関係を築き、安心できる環境の中で他児との関わりを広げます。 支援員が仲立ちしながら、一人遊び → 並行遊び → 連合遊び → 共同遊びへと自然に移行できるように支援します。 また、運動療育を通して「順番を待つ」「ルールを守る」など、社会生活の基礎を楽しく学びます。										
家族支援		保護者の皆様の負担を軽減するため、学校や園へのお迎え・ご自宅への送迎を無料で実施しています。 ご家庭と日々の様子を共有しながら、安心して通える環境づくりと保護者支援の両立を目指しています。懇談や進路のご相談いつでもお受けしています。							移行支援		児童期だけでなく、将来の自立を見据えた一貫した支援体制を整えています。 グループ内では「生活介護」「就労継続支援」「グループホーム」などの福祉サービスを展開し、成長後も切れ目のないサポートを提供します。	
地域支援・地域連携		国家資格を持つ専門職や医療・教育機関と連携し、多職種協働による支援を行っています。 地域の関係機関との連携を深めることで、お子さま一人ひとりに最適な環境と支援方法を選択できるよう努めています。							職員の質の向上		全職員が継続的に研修を受け、障がい特性・支援方法・虐待防止などの知識を深めています。 日々の実践を振り返り、より質の高い支援が行えるようチーム全体で研鑽を重ねています。	
主な行事等		四季折々の行事を通じて、季節を感じ、仲間と楽しむ時間を大切にしています。 白ゆり祭り（発表会）・スポーツ大会・サッカー大会・農業体験・作業所体験・遠足・お花見・夏祭り・クリスマス会・餅つき など 自然や社会とのふれあいを通じて、豊かな感性と社会性を育む体験を提供しています。										